

登録コード	T5A11300	開講年度	2026				
授業科目	建築設計製図（16T以降）				担当教員	土本 俊和 他	
英文授業名	Building Design and Drawing 2				副担当	松田 昌洋	
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	木曜・3時限 木曜・4時限 木曜・5時限	対象学生	建築学科3年生
講義室	工C5-製図室 工W2-601教室		授業形態	演習	遠隔授業科目		備考
信大コンピテンシー 該当							
(1)授業の達成目標		【授業で得られる「学位授与の方針」要素】			【授業の達成目標】		
		2 5 Tカリ, 2 3 Tカリ					
		【22T～】専門分野における専門的学力が身についている。			街区・民家の再生に関する考え方と手法にもとづいて、地域の課題に取り組むことができるようになる。		
		【22T～】専門的学力を基礎とし、的確な情報を収集・理解し、これを他の人に発信できる能力が身についている。			フィールド調査によって伝統的な町並みや建物の特徴をとらえ、その内容を図面や言葉で説明できるようになる。		
		【22T～】様々な課題を見つけ取り組む力が身についている。			町並みや建物の地域性について理解し、課題を見つけ、解決するための街区・民家の再生について提案することができるようになる。		
(2)授業で学べる「テーマ」		地域運営、芸術文化、環境共生、多文化協働、防災減災					
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要		「街区の再生」と「民家の再生」の課題に取り組む。 「街区の再生」では、歴史的市街区について、街区全体を段階的に再生する。 「民家の再生」では、農家や町屋などの伝統的な建造物を再生する。					
(5)授業計画		事前 第0週（未定：掲示等で指示します）:事前ガイダンス 前半（Pクラス:街区の再生・Qクラス:民家の再生） 第1週（10/01）:フィールド調査 第2週（10/08）:フィールド調査・エスキス1（企画） 第3週（10/15）:フィールド調査・エスキス2（全体計画） 第4週（10/22）:エスキス3（平面・立面・断面計画） 第5週（10/29）:エスキス4（詳細計画） 第6週（11/05）:図面の表現方法 （11/17）:図面提出 第7週（11/19）:講評会 後半（Pクラス:民家の再生・Qクラス:街区の再生） 第8週（12/03）:フィールド調査 第9週（12/10）:フィールド調査・エスキス1（企画） 第10週（12/17）:フィールド調査・エスキス2（全体計画） 第11週（12/24）:エスキス3（平面・立面・断面計画） 第12週（01/07）:エスキス4（詳細計画） 第13週（01/14）:図面の表現方法 （01/19）:図面提出 第14週（01/21）:講評会、授業アンケート <前半と後半のまとめ> 第15週（02/06（予定））:成果発表会（PクラスとQクラス合併） （*）授業日程に変更がある場合は授業中や掲示等でアナウンスする					
(6)成績評価の方法		エスキス時の達成度と作品（図面・模型）の完成度で評価する。					
(7)成績評価の基準		（1）設計課題に対する建築的な提案が示されており、（2）提案の内容を伝える作品（図面・模型）が正確に制作されており、（3）作品が独創的で敷地の環境に適したものとなっており、（4）作品の表現が魅力的で、かつ、（5）全体的に教員を感心させるレベルにあれば「卓越している」。4項目までできていれば「かなり上にある」。3項目までできていれば「やや上にある」、2項目までできていれば「水準にある」。					
(8)事前事後学習の内容		毎回の授業の最後に、次の回につながる課題を出す。次の回には、この課題に対する提案について、エスキスチェックを行う。					
(9)履修上の注意		日本建築史や保存再生に関する知識や考え方を修得しておくことが望ましい。また、再生された建築の事例を見学しておくことが望ましい。					
(10)質問、相談への対応		メールで対応する。 土本（tsuch01@shinshu-u.ac.jp） 松田（mat@shinshu-u.ac.jp）					
(11)その他							
【教科書】		指定しない					
【参考書】		文化庁監修『民家のみかた調べかた』（第一法規、1967年） 降幡廣信『民家再生の設計手法』（彰国社、1997年） 陣内秀信『イタリア都市再生の論理』（鹿島出版会、1978年）					